

施策評価シート

施策等名称	高齢者の社会参加と福祉的予防の推進	体系番号	0101010203
		主管課	保健福祉サービスセンター

1 施策基本情報

現状と課題	高齢者が生きがいを持って活動できる社会参加の仕組みづくりを進めるとともに、高齢者の高い意欲が発揮できるよう、就業を含む社会参加のための環境整備、買い物や外出、地域内・外との交流など、個々のニーズが満たされるための支援の充実が求められている。また、市内に転入されてきた方や別荘滞在者につながる仕組みづくりも必要となっている。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	社会参加の状況は本人の健康状態や、介護や支援の必要性などによって異なるが、それぞれの状態に応じた社会参加やつながりを促すために、高齢者の社会参加や福祉的予防への取組に向け、施策を充実させていく。高齢期・高齢者の理解を促し、積極的に現在の高齢者像を広めるとともに、元気に過ごされている高齢者が現状を維持しながら、生きがいを持って生活できる地域づくりを推進する。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
				2027年度目標値
①	高齢者クラブ補助金交付地区数	高齢者クラブの活動に対する補助金交付を受けている区・自治会数(区・自治会)	57	57
②				
③				

施策の体系	名称	高齢者クラブの組織力向上の推進		主管課	保健福祉サービスセンター			
		詳細	高齢者の生きがいとなる活動や、社会参加が促されることを目指し、高齢者クラブの活動を支援する。					
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	高齢者クラブ補助金交付地区数	高齢者クラブの活動に対する補助金交付を受けている区・自治会数(区・自治会)	57	57	1	高齢者クラブ助成事業	実施
						2		
						3		
	2					4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携							
	名称	福祉推進委員・地区社会福祉協議会等への活動支援の推進		主管課	保健福祉サービスセンター			
		詳細	福祉推進委員は、区・自治会の地域福祉の窓口や地域における福祉活動の推進役として活動し、地区社会福祉協議会が福祉推進委員の活動を支援している。市は、この活動支援に対して、市社協へ財政的支援を行う。また、地区社協は、保健福祉サービスセンターや地区コミュニティセンターと協働し、各地区に応じた地域づくりを推進する。					
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	協議体設立数	事業推進において市内10地区で設立を要する協議体の設立数	0	10	1	生活支援体制整備事業	実施
						2		
3								
2					4			
3					5			
					6			
基本政策間連携								
名称	社会参加のあり方の総合的な検討と推進		主管課	保健福祉サービスセンター				
	詳細	高齢者の生きがい・楽しみや、仲間づくりにつながる機会の一つとして、高齢者作品展を実施。また地域活動への参加促進等、高齢者の社会参加について、関係機関とも連携して検討していく。						
まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
1	前年比作品展出品率	当年度の出品者数÷前年度の出品者数(%)	100.00	120.00	1	老人いきがい対策事業	実施	
					2	地域介護予防活動支援事業	実施	
					3			
2					4			
3					5			
					6			
基本政策間連携								

施策評価シート

施策等名称	高齢者の社会参加と福祉的予防の推進	体系番号	0101010203
		主管課	保健福祉サービスセンター

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の柱 4	名称	福祉的予防の推進と高齢者福祉センターの活用の検討			主管課	保健福祉サービスセンター	
	詳細	高齢者同士の憩いの場や介護予防通所事業の拠点として開設した「いきいき健幸ルーム」を活用し、介護予防に向けた教室・講座等を開催する。さらに、介護予防に係る情報等も提供し、福祉的予防の総合的な拠点として機能を充実していく。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	いきいき健幸ルーム年間利用者数	いきいき健幸ルームで実施する各種健康教室への年間参加者数(人)	2195	6,000	1 いきいき健幸ルーム事業	実施
					2 高齢者福祉センター塩壺の湯運営事業	実施	
	2	高齢者福祉センター塩壺の湯利用者数	高齢者福祉センター塩壺の湯利用者数(人)	61,500	65,300	3	
					4		
	3				5		
					6		
	基本政策間連携						
施策の柱 5	名称	就業しやすい環境づくりの推進			主管課	保健福祉サービスセンター	
	詳細	高齢者の活動・就業の場や機会を提供するシルバー人材センターの運営に対して助成を行う。また、高齢者が長年培ってきた経験や知識、技術・技能を次世代に継承できるよう、環境づくりを検討します。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	シルバー人材センターへの助成	助成の継続	助成実施	助成継続実施	1 シルバー人材センター運営助成事業	実施
					2		
	2				3		
					4		
	3				5		
					6		
	基本政策間連携						
施策の柱 6	名称				主管課		
	詳細						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1				1		
					2		
	2				3		
					4		
	3				5		
					6		
	基本政策間連携						
施策の柱 7	名称				主管課		
	詳細						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1				1		
					2		
	2				3		
					4		
	3				5		
					6		
	基本政策間連携						

施策等名称	高齢者の社会参加と福祉的予防の推進	体系番号	0101010203
		主管課	保健福祉サービスセンター

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)					
施策	高齢者クラブ補助金交付地区数 (柱1の目標も兼ねる)	57	57	57	56	50	50	46
		57	100.00	100.00	98.25	87.72	87.72	80.70
変動要因等	2018年度	各地区高齢者クラブ数の変動なし。						
	2019年度	各地区高齢者クラブ数の変動なし。						
	2020年度	各地区高齢者クラブ数の変動はないが、活動休止により補助金申請しなかったクラブがあったため減少。						
	2021年度	各地区高齢者クラブ数の減。						
	2022年度	各地区高齢者クラブ数の変動なし。						
2023年度	開催したクラブ、補助金申請のなかったクラブがあったため減少。							
柱2		0	7	9	9	9	9	9
1	協議体設立数	10	70.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
変動要因等	2018年度	市内10地区に協議体の設立を推進し、7地区で設置完了。						
	2019年度	市内10地区に協議体の設立を推進し、9地区で設置完了。						
	2020年度	昨年と同様に9地区で設置完了。						
	2021年度	昨年と同様に9地区で設置完了。						
	2022年度	昨年と同様に9地区で設置完了。						
	2023年度	昨年と同様に9地区で設置完了。						
柱3		100.00	125.64	73.47	72.22	134.62	82.86	155.17
1	前年比作品展出品率	120.00	104.70	61.23	60.18	112.18	69.05	129.31
変動要因等	2018年度	高齢者作品展に前年と同数の出品があった。(参考:2018年度出品者数 33人49点)						
	2019年度	作品出品者数は、前年度を下回った。(参考:2019年度出品者数 26人36点)						
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大もあり、作品出品者数は、前年度を下回った。(参考:2020年度出品者数 14人26点)						
	2021年度	ワクチン接種等のコロナに対応した社会情勢などにより作品出品者数の増。(参考:2021年度出品者数 24人35点)						
	2022年度	周知不足などが考えられるか。直接的な原因は不明。作品出品者数の減。(参考:2022年度出品者数 18人29点)						
	2023年度	介護施設入所者の作品の出品があったため。(参考:2023年度出品者数 31人45点)						
柱3		1	1	0	0	0	0	1
2	通いの場の形成数	5	20.00	0	0	0	0	1.38
変動要因等	2018年度	通いの場の形成数に変動なし。						
	2019年度	通いの場の形成なし。						
	2020年度	通いの場の形成なし。						
	2021年度	通いの場の形成なし。						
	2022年度	通いの場の形成なし。						
	2023年度	GSWが中心になり、民生委員の協力のもと、米沢地区でお茶のみサロンを形成。(月1回)						
柱4		2,195	7,416	7,288	531	1,476	1,716	2,800
1	いきいき健康ルーム年間利用者数(延べ)	6,000	123.60	121.47	8.85	24.60	28.60	46.67
変動要因等	2018年度	各種運動教室の開催により、利用者は増加傾向にある。(計画策定時は5ヶ月間(11月～3月)の利用実績)						
	2019年度	新型コロナウイルス感染予防のため、令和2年3月は事業を中止したため、前年度を下回る結果となった。(2019年度は11ヶ月の人数) ※月平均数では前年度を上回っている。						
	2020年度	新型コロナウイルス感染予防のため、開催期間を5ヶ月間(11月～3月)とし、講座の定員を絞って対応した。						
	2021年度	新型コロナウイルス感染予防のため、計2ヶ月間の中止をし、それ以外の期間は県の感染警戒レベルに応じ、講座の定員を絞って対応した。						
	2022年度	コロナ禍で新たな市民活動の創出は難しかったが、市民活動再開のための講座を中心に市民活動の支援を行った。						
	2023年度	社会活動の再開に伴い、講座も再開し、従来の定員まで戻したため、利用者も増加した。						
柱4		57,242	67,503	71,608	55,278	62,395	62,057	60,061
2	高齢者福祉センター塩壺の湯利用者数	70,000	96.43	102.30	78.97	89.14	88.65	85.80
変動要因等	2018年度	個人利用のほか、高齢者クラブ等の団体利用及びいきいき健康ルーム講座参加者が増加。						
	2019年度	個人利用のほか、高齢者クラブ等の団体利用及びいきいき健康ルーム講座参加者が増加。						
	2020年度	新型コロナウイルス感染予防のため、施設を4/5から5/18まで閉館、5/19から6/19まで時短営業等の対応をしたことによる減。						
	2021年度	施設の一部利用制限、時短営業等の対応をしたが、開館し続けたため増加。						
	2022年度	通常営業を続け、団体利用も徐々に再開した。						
	2023年度	通常の社会活動に戻ったが、高齢者クラブの団体利用が減少している。						

施策等名称	高齢者の社会参加と福祉的予防の推進	体系番号	0101010203
		所管課	保健福祉サービスセンター

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)					
柱5 1	シルバー人材センターへの助成	助成実施	助成実施	助成実施	助成実施	助成実施	助成実施	助成実施
		助成継続実施	達成	達成	達成	達成	達成	達成
変動要因等	2018年度	シルバー人材センターへの助成を継続。						
	2019年度	シルバー人材センターへの助成を継続。						
	2020年度	シルバー人材センターへの助成を継続。						
	2021年度	シルバー人材センターへの助成を継続。						
	2022年度	シルバー人材センターへの助成を継続。						
	2023年度	シルバー人材センターへの助成を継続。						

施策等名称	高齢者の社会参加と福祉的予防の推進				体系番号	0101010203	
					主管課	保健福祉サービスセンター	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目	2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)		2018年~2023年(総括)	
	投資額	事業費(円)	88,585,780	85,945,535	0.97	85,286,298	0.99	85,165,745	1.00	103,845,988	1.22	88,810,342
うち一財(円)		48,758,336	45,389,691	0.93	45,806,123	1.01	49,025,761	1.07	68,688,062	1.40	49,487,577	0.72
(2018年~2023年(総括)については2023年の実績を記載)	増減理由(一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)											
進捗評価	おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調	
総合評価	主な取組内容や成果	高齢者クラブの活動支援、各種教室の開催、高齢者の通いの場の形成推進、介護予防事業等を実施。	高齢者のいきいき対策事業、高齢者クラブの活動支援、高齢者の通いの場の形成推進、介護予防事業等を実施。	高齢者クラブ助成は、活動休止以外の全てのクラブに実施。一方で、高齢者のいきいき対策、高齢者の通いの場の形成推進、地域介護予防活動支援いきいき健幸ルーム等は、新型コロナ感染症拡大の影響等で未実施又は縮小して実施した。	高齢者クラブの活動が自粛により縮小している。クラブを解散した地区も見受けられる。いきいき健幸ルーム等の介護予防事業は、なるべく止めないよう実施した。	(R4評価)高齢者クラブ、シルバー人材センターへの補助・助成を継続。高齢者福祉センターに除菌機能付きの空調設備を整備し、団体利用を再開。健幸ルームの事業を制限していた定員を拡充。(総括評価)高齢者クラブの活動の縮小、組織率の低下が見られる一方で、介護予防事業や高齢者福祉センターの利用は活発。	新型コロナウイルス感染症の影響で事業が縮小された期間があったが、クラブへの助成、シルバー人材センターへの助成、いきいき健幸ルームの各種講座を通じて、高齢者の社会参加、福祉的予防が図られている。高齢者の健康志向の高まりから、いきいき健幸ルームの稼働は高い。					
	課題	高齢者が生きがいを持って暮らしていくために、さらにどのような仕組み・支援が必要か、課題等を整理していく必要がある。	いきいき健幸ルームの参加者の増加に伴い、定員を上回ってしまう講座も発生してきている。	助成を受けた高齢者クラブは、感染症の影響で実質活動できていない。感染症対策を取りつつ、できる事業はなるべく実施していくことが必要。長期間に渡り高齢者の外出の機会等が失われることは避けたい。	高齢者クラブの役員の負担に起因する担い手不足などによりクラブの存続ができないところが出てきている。いきいき健幸ルーム事業等については、高齢者の社会参加の場を確保し、フレイル予防のためにも、感染対策を取り基本的に中止しない。	(R4・総括評価共通)高齢者クラブの役員の負担に起因する担い手不足などによりクラブの存続ができないところが出てきている。高齢者福祉センターの団体利用については、コロナ禍を経て、集団で飲食等をすることを控えている傾向にあり、利用が伸びていない。	新型コロナを経験したこと、社会情勢や人々の価値観の変化に伴い、高齢者クラブの役員の担い手や活動の停滞等の課題が、今後増えていくことが懸念される。一方、人口激減社会に突入し、現役世代の減少による労働力不足が顕著となり、高齢者の労働力の期待も高い。					
改革・改善	改革・改善内容	既存の高齢者クラブの活動は維持し、さらに介護予防の視点から、地域やいきいき健幸ルームで実施している各運動教室への参加者を増やしていく。	各地域において、新たな介護予防事業を展開していく。いきいき健幸ルーム事業の定員オーバーの課題については、今後の実施方法等を検討し、新たな態勢で実施していく。	いきいき健幸ルームについて、参加人数の制限、消毒等の徹底、開催時間の短縮等により、感染症対策を実施する。また、高齢者クラブの利用が多い高齢者福祉センター塩壺の湯について、団体利用の制限を解除した際にも、安心して利用できるよう引き続き感染症対策を行う。	高齢者クラブの役員の担い手不足は、他の市町村でも起きているはずなので、情報収集をし、対策を模索する。いきいき健幸ルーム事業等については、人数制限や時間短縮などの対策を取り実施していく。	(R4・総括評価共通)市から高齢者クラブに依頼する補助金申請の書類等の事務負担を軽減できないか検討する。高齢者福祉センターの団体利用を促進するよう、保健師等の出前講座等を紹介するなど、多様な団体利用の仕方を提案できるよう検討する。	高齢者福祉センターの機能、役割を見直し、健康志向の高まりに対応した福祉的予防施策の拡充と利用者負担の検討。(介護予防に関する拠点施設としての高齢者福祉センター)地域の労働市場から求められる労働が提供できるようシルバー人材センターの運営指導。					
	重点化する施策の柱	4	4	4	4	4	4					
	重点業務	1	1	1	1	1	1					
理由	各地区の運動教室や、いきいき健幸ルームの各種教室の参加者を増やしていくことで、高齢者の介護要望と健康増進につなげていきたい。	いきいき健幸ルームの各種教室の参加者を増やしていくことで、高齢者の介護要望と健康増進につなげていきたい。その他の事業についても、継続して実施していく。	当施策の目的といきいき健幸ルームの事業目的が合致しており、高齢者が人との関わりを持つこと、生きがいを見つけ実践していくことが、高齢者の介護要望と健康増進につながるため。	いきいき健幸ルーム事業により、社会参加の機会の提供を続け、高齢者同士の関係づくりを促進し、身体と心の健康増進に繋げていくため。	社会参加を促す事業の中でも、健幸ルーム事業は、高齢者の趣向を捉え、各種の講座メニューを設けており、活発な参加が見込めるため。	いきいき健幸ルームの事業拡充により、フレイル予防がより一層推進され、高齢者の就労や地域活動など社会参加年齢の延伸が期待できる。						
作成担当者	牛山 浩	牛山 浩	平林 健児	平林 健児	平林 健児	立石 武彦						
最終評価責任者	両角 直樹	両角 直樹	依田 利文	依田 利文	平澤 精一	井出 弘						
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月10日	2021年5月28日	2022年5月27日	2023年10月19日	2024年7月12日						